

# 日中語の「動詞＋動詞」型複合動詞の対照研究

## —語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違い—<sup>1)</sup>

朱 茜

### Abstract

This paper examines verb-verb compounds in Japanese and Chinese by means of contrastive linguistic analysis. Japanese verb-verb compounds may be divided into two types, lexical and syntactic compounds, according to grammatical and semantic criteria. This paper shows that Chinese verb-verb compounds can also be classified into lexical and syntactic compounds, by application of the following tests. First, lexical compounds must be negated as a whole whereas only the second verb of syntactic compounds can be negated. Secondly, unlike the case of lexical compounds, an adverb can modify only the second verb of a syntactic compound. Thirdly, the two types of Chinese verb-verb compounds have different semantic relationships between their components: The two verbs comprising lexical compounds have Coordinating, Method, and Manner relations, while those forming syntactic compounds exhibit Causation and Complementation relations.

キーワード……複合動詞 語彙的複合 統語的複合 否定のスコープ 修飾のスコープ

### 1. はじめに

現代日本語にも現代中国語にも、2つの動詞が組み合わされた「動詞＋動詞」型複合動詞が存在している。例えば、日本語の「買い戻す」「滑り落ちる」や、中国語の“起飞”「飛び立つ」「挑战」「挑戦する」はいずれも「動詞＋動詞」型複合動詞である。

影山 (1993: 75) では、日本語の「動詞＋動詞」型複合動詞を「語彙的複合動詞」と「統語的複合動詞」に分けている。例えば、「探し歩く」は語彙的複合動詞であり、「しゃべり続ける」は統語的複合動詞である。

(1) 行方不明の子供を探し歩いた。<sup>2)</sup>

(2) 彼はしゃべり続ける。

本稿では、語彙的複合と統語的複合の違いに注目しながら、日本語の「動詞＋動詞」型複合動詞と中国語の「動詞＋動詞」型複合動詞を対照する。結論として、中国語にも、“商讨”「検討する」のような語彙的複合動詞と、“吹断”「(風が)吹いて折れる」のような統語的複合動詞

の区別が存在していることを指摘する。

(3) 他们 正在 商讨 那 件 事。

(彼ら ている 相談する+検討する その 件 こと)

「彼らはそのことを検討している」

(4) 风 吹断 了 树枝。

(風 吹く+折れる PAST 木の枝)

「風で枝が折れた」

本稿では、中国語における「動詞+動詞」型複合動詞を研究対象とし、否定のスコープ、副詞の修飾のスコープという文法的な側面、および前項動詞と後項動詞の意味的關係という意味的な側面に注目しながら、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違いを検討する。結果として、日本語の場合と同様に、中国語の語彙的複合動詞と統語的複合動詞の間にも文法的・意味的な違いがあると主張する。

## 2. 日中語複合動詞に関する先行研究の概観

本節では、日中語の複合動詞に関する先行研究を概観し、本研究の立場を説明する。

日本語の複合動詞に関する先行研究は多い。影山 (1993: 75) は日本語複合動詞の形態に関して、「動詞と動詞の結合による複合語 (V-V 型複合語) … (中略) …V-V 型の複合動詞は、前部分の動詞 (V1) と後部分の動詞 (V2) に分かれるわけであるが、V1 が『押し-開ける、食べ-始める』のように連用形 (イ形) である」と述べている。松本 (1998)、由本 (2005)、由本 (2013) では、日本語の語彙的複合動詞を前項動詞と後項動詞の意味的關係による「並列関係」「手段」「付帯・様態」「因果関係」「補文関係」に分けている。宮内 (1989) では、前項動詞と後項動詞の格支配力による「動詞+動詞」型複合動詞を9分類にしている。

影山 (2013: 3) では、影山 (1993) を踏まえ、日本語の語彙的複合動詞と統語的複合動詞について、以下のような定義を行っている。

語彙的複合動詞：

後項動詞 (V2) が直接、前項動詞 (V1) の連用形に結合する。すなわち、2つの語彙範疇が直接的に複合であるという点で「語彙的」である。

統語的複合動詞：

V2 は、直接、V1 の連用形に付くのではなく、V1 を主要部とする補文 (幾つかのレベルの動詞句) を取る。すなわち、統語的な句に付くという点で「統語的」である。

影山 (2013: 3-4)

影山 (1993: 174-175) では、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違いについて、語彙的複合動詞は語彙部門で、統語的複合動詞は統語部門で派生すると述べている。

中国語の複合動詞に関して、湯廷池 (1989: 10) は中国語の複合動詞の構成が“复合动词是由两个或两个以上语根<sup>3)</sup>组成的”「複合動詞は二つ、あるいは、二つ以上の語根で構成される」と述べている。湯廷池 (1989: 12)、北京大学中国語言文学系現代漢語教研室 (2008) は、中国語の複合動詞を「主述関係」「動目関係」「修飾関係」「並列関係」「動補関係」に分けている。

影山 (1993) および影山 (2013) では、生成文法の立場から日本語の語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違いを説明した。本稿では、生成文法の観点から離れて、主語尊敬語、否定のスコープ、修飾のスコープの文法上の立場、および前項動詞と後項動詞の意味的關係を取り上げ、日中語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違いを対照する。

### 3. 日本語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違い

本節では、日本語の「動詞+動詞」型複合動詞に関して、主語尊敬形、副詞の修飾のスコープ、および前項動詞と後項動詞の意味的關係に着目し、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違いを示す<sup>4)</sup>。3.1節では、主語尊敬形と副詞の修飾のスコープから、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の文法的な違いを考察する。3.2節では、前項動詞と後項動詞の意味的關係から、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の意味的な違いを考察する。以下、本稿では、「動詞+動詞」型複合動詞を複合動詞と略称する。

#### 3.1 日本語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の文法的違い

影山 (1993) は、日本語において、語彙的複合動詞の場合とは異なり、統語的複合動詞の前項動詞は、代用形「そうする」、主語尊敬形、受身形、サ変動詞、重複構文に置き換えられると述べている。本節では、複合動詞の主語尊敬形と副詞の修飾のスコープに着目し、日本語の語彙的複合動詞と統語的複合動詞の文法的な違いを考察する。

(5) 語彙的複合動詞：手紙を受け取る。→手紙をお受け取りになる。

\*手紙をお受けになり取る。

統語的複合動詞：太郎は歌を歌い始める。→太郎は歌をお歌い始めになる。

先生は歌をお歌いになり始める。

例文 (5) から見ると、語彙的複合動詞「受け取る」では、前項動詞「受ける」のみを主語尊敬形にすることはできず、複合動詞全体を主語尊敬形にするしかない。それに対し、統語的複合動詞「歌い始める」では、前項動詞「歌う」のみを主語尊敬形にすることができる。

語彙的複合動詞と統語的複合動詞が副詞に修飾される場合、修飾のスコープも異なる。以下

では\_\_\_\_\_により副詞を示す。

(6) 語彙的複合動詞：

a：私はついに聞き取った。

b：今年5歳になる女の子だけど、たまに泣き叫ぶ。

(7) 統語的複合動詞：

a：論文をついに書き終わった。

b：たまに食べ過ぎても太らない。

例文 (6a) で副詞「ついに」が語彙的複合動詞「聞き取る」を修飾するとき、複合動詞の全体を修飾する。同様に(6b) でも副詞「たまに」が語彙的複合動詞「泣き叫ぶ」の全体を修飾する。ところが、例文 (7a) で副詞「ついに」が統語的複合動詞「書き終わる」を修飾するとき、後項動詞「終わる」のみを修飾する。(7b) でも副詞「たまに」が統語的複合動詞「食べ過ぎる」の後項動詞「過ぎる」のみを修飾する。

統語的複合動詞では、副詞が統語的複合動詞の前項動詞のみを修飾する場合も存在する。

(8) 彼は本を丁寧に読み過ぎる。

例文 (8) で副詞「丁寧に」は統語的複合動詞「読み過ぎる」の前項動詞「読む」のみを修飾する。

上の例文から明らかなように、日本語の語彙的複合動詞では、前項動詞のみを主語尊敬形にすることができず、複合動詞全体が副詞に修飾される。一方の統語的複合動詞では、前項動詞のみを主語尊敬形にすることができ、前項動詞または後項動詞のみが副詞に修飾される可能性がある。

### 3.2 日本語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の意味的違い

松本 (1998)、由本 (2005)、由本 (2013) は、日本語の語彙的複合動詞における前項動詞と後項動詞には「並列関係」「手段」「付帯・様態」「因果関係」「補文関係」という5種類の意味的關係があると指摘している。本稿では、松本 (1998)、由本 (2005)、由本 (2013) を踏まえ、複合動詞の前項動詞と後項動詞の意味的關係を「並列関係」「手段」「様態」「因果関係」「補文関係」という5種類に分ける。本節では、複合動詞の前項動詞と後項動詞の意味的關係に着目し、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の意味的な違いを考察する。

(9) 並列関係：

語彙的複合動詞：別れた母を恋い慕う。

例文 (9) で前項動詞の「恋う」と後項動詞の「慕う」という2つの動作は同時に発生する。つまり前項動詞「恋う」と後項動詞「慕う」は意味的に対等である。

(10) 手段：

語彙的複合動詞：ここからが勝負で、こっちが正論だから言い負かす。

(『北海道新聞』2003/10/18)

例文 (10) の語彙的複合動詞「言い負かす」では、「負かす」という事態は「言う」によって実現する。前項動詞「言う」は後項動詞「負かす」の手段を表す。

(11) 様態：

語彙的複合動詞：毎晩酒を飲み歩くようになった。

例文 (11) の語彙的複合動詞「飲み歩く」では、「あちこちの店をまわって飲みながら歩く」という歩く様態を表す。つまり前項動詞「飲む」は後項動詞「歩く」の様態を表す。

(12) 因果関係：

語彙的複合動詞：町中が寝静まった。

例文 (12) の語彙的複合動詞「寝静まる」では、「人々が眠ったので町中が静かになる」ことを表す。前項動詞の「寝る」は後項動詞「静まる」の原因を表す。

(13) 補文関係：

語彙的複合動詞：私は、慌てていたので相手の名前を聞き落とした。

統語的複合動詞：彼は歌を歌い終わった。

例文 (13) の語彙的複合動詞「聞き落とす」は、名前を聞くべきときに聞かないという意味であり、「名前を聞く」全体が後項動詞「落とす」の動作対象である。つまり後項動詞「落とす」の意味は前項動詞「聞く」によって満たされる。別の統語的複合動詞「歌い終わる」でも同様に、「歌を歌う」全体が後項動詞「終わる」の動作対象である。後項動詞「終わる」の意味も前項動詞「歌う」によって満たされる。つまり前項動詞と後項動詞の間の意味的關係は補文関係

である。

日本語の複合動詞の前項動詞と後項動詞の意味的關係についてまとめると、語彙的複合動詞における前項動詞と後項動詞の意味的關係には「並列關係」「手段」「様態」「因果關係」「補文關係」の5種類があるが、統語的複合動詞における前項動詞と後項動詞の意味的關係は「補文關係」しかない。

#### 4. 中国語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違い

本節では、中国語の「動詞+動詞」型複合動詞に関して、否定のスコープ、修飾のスコープ、前項動詞と後項動詞の意味的關係に着目し、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違いを明らかにする。4.1節では、否定のスコープと副詞の修飾のスコープから、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の文法的な違いを考察する<sup>5)</sup>。4.2節では、前項動詞と後項動詞の意味的關係から、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の意味的な違いを考察する。

##### 4.1 中国語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の文法的違い

本節では、中国語複合動詞において、否定形式“没/不”の否定のスコープと副詞の修飾のスコープに着目し、中国語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の文法的な違いを考察する。

##### (14) 語彙的複合動詞：

a: 敌人 撤退 了。→ 敌人 没 撤退。  
(敵 去る+退く PAST) (敵 否定+去る+退く)  
「敵が撤退した」 「敵が撤退しない」  
\*敌人 撤-不-退。  
(敵 去る+否定+退く)  
(意図した意味:「敵が撤退しない」)

b: 他 放弃 了。→ 他 没 放弃。  
(彼 放す+棄てる PAST) (彼 否定+放す+棄てる)  
「彼は放棄した」 「彼は放棄しない」  
\*他 放-不-弃。  
(彼 放す+否定+棄てる)  
(意図した意味:「彼は放棄しない」)

(15) 統語的複合動詞：

a: 他 写完 作业 了。→ 他 没写完 作业。  
 (彼 書く+終わる 宿題 PAST) (彼 否定+書く+終わる 宿題)  
 「彼は宿題を書き終わった」 「彼は宿題を書き終わらない」  
 他 写不完 作业。  
 (彼 書く+否定+終わる 宿題)  
 「彼は宿題を書き終わらない」

b: 他 喝醉 了。→ 他 没喝醉。  
 (彼 飲む+酔う PAST) (彼 否定+飲む+酔う)  
 「彼は酔っぱらった」 「彼は酔っぱらわない」  
 他 喝不醉。  
 (彼 飲む+否定+酔う)  
 「彼はいくら飲んでも酔わない」

例文 (14a) の語彙的複合動詞“撤退”「撤退する」では、“没撤退”「撤退しない」という否定形式しか持たず、後項動詞“退”「退く」のみを否定できない。例文 (14a) と同様に (14b) の“放弃”「放棄する」でも、後項動詞“弃”「棄てる」のみを否定できない。

ところが例文 (15a) の統語的複合動詞“写完”「飲み終わる」では、“没写完”「書き終わらない」のように複合動詞の全体を否定できるだけでなく、“写不完”「書き終わらない」のように後項動詞“完”「終わる」のみを否定することも可能である。同様に例文 (15b) でも、統語的複合動詞“喝醉”「酔っぱらう」の全体を否定することも可能であり、後項動詞“醉”「酔う」のみを否定することも可能である。

副詞が修飾する場合、語彙的複合動詞と統語的複合動詞は修飾のスコープにおいて異なる。

3.1 節と同様に以下の例文でも       により副詞を示す。

(16) 語彙的複合動詞：

a: 他 终于 把 房间 收拾 了。  
 (彼 やっと 前置詞 部屋 収める+拾う PAST)  
 「彼はやっと部屋を片付けた」

b: 那 幅 画 就要 展出 了。  
 (その 枚 絵 まもなく 展示する+出す PAST)  
 「その絵がまもなく展示される」

(17) 統語的複合動詞：

a：由于 实验 成功，终于 推翻 了 那个 定论。

(により 実験 成功 やっと 推す+めくる PAST その 定説)

「実験の成功でやっとその定説を覆した」

b：这 本 小说 就要 读完 了。

(この 冊 小説 まもなく 読む+終わる PAST)

「この小説はまもなく読み終わる」

例文 (16a) で副詞“终于”「やっと」は語彙的複合動詞“收拾”「片付ける」全体を修飾する。例文 (16b) でも同様に、副詞“就要”「まもなく」は語彙的複合動詞“展出”「展示する」全体を修飾する。一方、(17a) の副詞“终于”「やっと」は統語的複合動詞“推翻”「覆す」の後項動詞“翻”「めくる」のみを修飾し、(17b) の副詞“就要”「まもなく」も統語的複合動詞“读完”「読み終わる」の後項動詞“完”「終わる」のみを修飾する。

つまり中国語において、否定形式“没/不”は語彙的複合動詞と統語的複合動詞の全体を否定できる。語彙的複合動詞では後項動詞のみを否定できず、語彙的複合動詞全体が副詞に修飾される。これに対し統語的複合動詞の場合は、複合動詞の後項動詞のみが否定される可能性もあり、副詞は後項動詞のみを修飾する。

#### 4.2 中国語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の意味的違い

湯廷池 (1989: 12)、北京大学中国語言文学系現代漢語教研室 (2008)、奥水・島田 (2009) は、中国語の複合動詞における前項動詞と後項動詞の間の意味的關係を「主述關係」「動目關係」「修飾關係」「並列關係」「動補關係」という 5 種類に分けている。本節では前項動詞と後項動詞の意味的關係から、中国語の語彙的複合動詞と統語的複合動詞の意味的な違いを明らかにする。

(18) 並列關係：

語彙的複合動詞：他 踩踏 草坪。

(彼 踏む+踏む 草地)

「彼は草地を踏む」

例文 (18) の語彙的複合動詞“踩踏”「踏む」における前項動詞“踩”「踏む」と後項動詞“踏”「踏む」の意味は類義である。つまり前項動詞と後項動詞は意味的に対等である。

(19) 手段：

語彙的複合動詞：把 各種 代表 職業 的 器具 放 在  
(前置詞 各種 代表する 職業 の 器具 置く 前置詞  
桌 上, 让 小孩 任意 抓取。  
テーブル 上 使役 子供 勝手に つかむ+取る)  
「職業を代表する色々なものをテーブルにおいて、子供に自由につかみ取らせる」

(ccl)

例文 (19) の語彙的複合動詞“抓取”「つかみとる」は、子供が手でつかむという動作によつてものを手に入れることを表す。つまり前項動詞“抓”「つかむ」は後項動詞“取”「取る」の手段を表す。

(20) 様態：

語彙的複合動詞：树叶 飘落 下来。  
(葉 漂う+落ちる 趨向補語)  
「葉が漂いながら徐々に落ちた」

例文 (20) の語彙的複合動詞“飘落”「漂いながら落ちる」における前項動詞“飄”「漂う」は後項動詞“落”「落ちる」の動作の様態を表す。つまり前項動詞と後項動詞の意味的關係は、様態である。

(21) 因果關係：

統語的複合動詞：他 砍倒 了 那 棵 树。  
(彼 切る+倒れる PAST その 本 木)  
「彼はその木を切り倒した」

例文 (21) の統語的複合動詞“砍倒”「切り倒す」における前項動詞“砍”「切る」は原因を表し、後項動詞“倒”「倒れる」はその結果を表す。つまり前項動詞と後項動詞の意味的關係は、因果關係である。

(22) 補文關係：

統語的複合動詞：他 吃完 饭 了。  
(彼 食べる+終える ご飯 PAST)  
「彼はご飯を食べ終えた」

例文 (22) の統語的複合動詞“吃完”「食べ終える」は、ご飯を食べることが終わることを表す。つまり前項動詞“吃”「食べる」と目的語“飯”「ご飯」が全体として後項動詞“完”「終える」の動作対象になる。後項動詞“完”「終える」の意味は前項動詞“吃”「食べる」によって満たされることから、前項動詞と後項動詞とは補文関係であると言える。

中国語の複合動詞の前項動詞と後項動詞の意味的關係についてまとめると、語彙的複合動詞における前項動詞と後項動詞には「並列関係」「手段」「様態」の3種類の意味的關係があるが、統語的複合動詞における前項動詞と後項動詞には「因果関係」「補文関係」の2種類の意味的關係がある。

## 5. 日中語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の対照

第3節では、日本語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違いについて概観した。第4節では、中国語においても語彙的複合動詞と統語的複合動詞の相違点が見られることを示した。両言語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の文法的・意味的な違いを以下の表にまとめる。なお表中の例としては第3節・第4節で示したものの類例を挙げる。

表. 日中語の語彙的複合動詞と統語的複合動詞の対照

	日本語	中国語
語彙的複合動詞	前項動詞のみを主語尊敬不可 「*お書きになり込む」	後項動詞のみを否定不可 “*敲不打”「叩かない」
	副詞は複合動詞全体を修飾 「突然飛び出す」	副詞は複合動詞全体を修飾 “经常逃避”「しばしば逃避する」
	前項動詞と後項動詞の意味的關係： 並列関係、手段、様態、因果関係、補文関係	前項動詞と後項動詞の意味的關係： 並列関係、手段、様態
統語的複合動詞	前項動詞のみを主語尊敬可能 「お乗りになり損ねる」	後項動詞のみを否定可能 “听不懂”「聞いたが分からなかった」
	副詞は前項動詞または後項動詞のみを修飾 「突然動き始める」	副詞は後項動詞のみを修飾 “经常敲坏”「しばしば叩き壊す」
	前項動詞と後項動詞の意味的關係： 補文関係	前項動詞と後項動詞の意味的關係： 因果関係、補文関係

(筆者作成)

この表に基づいて日中語の「動詞+動詞」型複合動詞を対照すると、次のようなことが分かる。

まず、日中語の語彙的複合動詞を対照する。日本語の語彙的複合動詞を見ると、前項動詞のみが主語尊敬形にならず、副詞は複合動詞全体を修飾する。前項動詞と後項動詞の意味的關係には「並列関係」「手段」「様態」「因果関係」「補文関係」の5種類がある。中国語の語彙的複合動詞においては、後項動詞のみを否定できず、副詞は複合動詞全体を修飾する。前項動詞と後項動詞の意味的關係には「並列関係」「手段」「様態」の3種類がある。

次に、日中語の統語的複合動詞を対照する。日本語の統語的複合動詞を見ると、前項動詞のみを主語尊敬形にすることが可能であり、副詞は前項動詞または後項動詞のみを修飾できる。前項動詞と後項動詞の意味的關係は「補文関係」のみである。中国語の統語的複合動詞においては、後項動詞のみを否定することが可能であり、副詞は後項動詞のみを修飾する。前項動詞と後項動詞の意味的關係には「因果関係」「補文関係」の2種類がある。

## 6. まとめ

本稿では、日中語の「動詞+動詞」型複合動詞を対照した。その結果、日本語の場合と同様に、中国語においても語彙的複合動詞と統語的複合動詞の間には文法的・意味的な違いがあることが分かった。

日本語において、語彙的複合動詞の前項動詞のみを主語尊敬形にできず、副詞は複合動詞全体を修飾するからである。語彙的複合動詞における前項動詞と後項動詞は形態上・文法上で一つにまとまっている。一方、統語的複合動詞の前項動詞のみを主語尊敬形にする可能性があり、副詞が前項動詞または後項動詞のみを修飾する可能性があるからである。統語的複合動詞における前項動詞と後項動詞は、ある程度独立な存在と見なされる。語彙的複合動詞の前項動詞と後項動詞の意味的關係には「並列関係」「手段」「様態」「因果関係」「補文関係」の5種類があるが、統語的複合動詞の前項動詞と後項動詞の意味的關係は「補文関係」に限られている。

中国語においても、語彙的複合動詞の全体を否定できるが、後項動詞のみを否定できない。さらに副詞も語彙的複合動詞全体を修飾するからである。語彙的複合動詞における前項動詞と後項動詞は形態上・文法上で一つにまとまっている。一方、統語的複合動詞の後項動詞のみを否定する可能性があるだけでなく、副詞が統語的複合動詞の後項動詞のみを修飾するからである。統語的複合動詞における前項動詞と後項動詞は、ある程度独立な存在と見なされる。語彙的複合動詞の前項動詞と後項動詞の意味的關係には「並列関係」「手段」「様態」の3種類があるが、統語的複合動詞の前項動詞と後項動詞の意味的關係には「因果関係」「補文関係」の2種類がある。

## <注>

- 1) 本稿は筆者が2017年に新潟大学に提出した修士論文の一部、および第4回対照言語学ワークショップ(2017年5月北海道大学)と中国語話者のための日本語教育研究会第39回研究会(2017年7月一橋

- 大学)に発表した2回の口頭発表の内容に基づいている。
- 2) 本稿における出典を明記していない例文は筆者による作例である。
  - 3) 叶蜚声・徐通鏘 (2010: 89)、黄伯荣・廖序東 (2008: 218) は、中国語学の語根は語の中心であり、語の意味を担当することである。中国語学の語根には自由に語として使われる自由語根があり、自由語根あるいは接辞と組み合わせさせて一つの語として使われる膠着語根がある。本稿で指摘している「語根」は自由語根を指す。
  - 4) 姫野 (1999: 5) は日本語複合動詞の否定形式について、語彙的複合動詞でも統語的複合動詞でも否定助詞「ない」は前項動詞と後項動詞の間には挿入できず、「飛び出さない」「送り届けない」のように後項動詞の後ろのみに付くと指摘している。これに対し中国語では、語彙的複合動詞と統語的複合動詞の間で否定形式上の違いがある。そのため本稿では、中国語の複合動詞の否定形式を検討するが、日本語の複合動詞の否定形式については検討しない。
  - 5) 中国語には主語尊敬語という形式が存在しないため、この点からは複合動詞のタイプの違いは分からない。本稿では、複合動詞の否定形式と副詞の修飾のスコープから中国語における語彙的複合動詞と統語的複合動詞の違いを検討する。

## <引用文献>

- 影山 太郎 (1993)『文法と語形成』ひつじ書房。
- 影山 太郎 (2013)「語彙的複合動詞の新体系—その理論的・応用的意味合い—」影山 太郎 (編)『複合動詞研究の最先端 謎の解明に向けて』ひつじ書房. 3-46 頁。
- 輿水 優・島田 亜実 (2009)『中国語わかる文法』大修館書店。
- 北京大学中国語文学系現代漢語教研室 (編) (2008) 松岡 栄志・古川 裕 (監訳)『現代中国語総説』三省堂。
- 姫野 昌子 (1999)『複合動詞の構造と意味用法』ひつじ書房。
- 松本 曜 (1998)「日本語の語彙的複合動詞における動詞の組み合わせ」『言語研究』114. 37-83 頁。
- 宮内 あゆみ (1989)「複合動詞の結合パターン」東京女子大学日本文学研究会 (編)『日本文学』72. 119-133 頁。
- 由本 陽子 (2005)『複合動詞・派生動詞の意味と統語 モジュール形態論から見た日英語の動詞形成』ひつじ書房。
- 由本 陽子 (2013)「語彙的複合動詞の生産性と2つの動詞の意味関係」影山 太郎 (編)『複合動詞研究の最先端 謎の解明に向けて』ひつじ書房. 109-142 頁。
- 黄 伯荣・廖 序東 (2008)《現代汉语 增订第四版 上册》(現代中国語 第四版 上卷) 高等教育出版社。
- 湯 廷池 (1989)《漢語詞法句法續集》(中国語文法統集) 台湾学生書局印行。
- 叶 蜚声・徐 通鏘 (2010)《语言学纲要 修订版》(言語学概説 改訂版) 北京大学出版社。

## <例文出典>

北海道新聞: 2003年10月18日発行。

ccl: 北京大学汉语语言学研究中心 ccl 语料库 (北京大学中国語学研究センターccl コーパス)。

主指導教員 (江畑冬生准教授)、副指導教員 (三ッ井正孝准教授・干野真一准教授)